

## 令和6年度の保育所における自己点検・自己評価

A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する

### ◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

園長兼施設長 家山真二

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			それぞれの個別の目標の設定をしている。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	○				保育理念に基づく保育の特色を生かしている。
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				アンケートの実施で出た意見を反映する様にしている。
	(4) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				事業目的などを職員会議などで共有している。
保育について	(1) 指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				年初において、年齢別の指導計画を作成し、実践的に行うようにしている。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			保育所保育指針を手に取りやすい場所に設置し、常に閲覧出来るようにしている。
	(3) 環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。		○			各クラスにおいて、環境構成について議論を重ねながら実施している
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			その年齢に合ったものを提供している。
	(5) 第三者による評価結果を基に、聴言の改善に努めているか。		○			アンケートによる第三者評価を職員一同で共有し、その結果について検討している。
日時等	(1) 一日の流れ（デイリープログラム等）は現行で良いか。			○		ゆったりとした保育を実践するため、行事や園内レッスンなどの見直しが必要である。
	(2) 保育時間は地域や保護者の要望に応じているか。			○		概ね要望に応じているが、保護者の中には、土曜保育を希望する方もいることを認識する必要がある。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。			○		以前よりも、行事の種類は減らしているが、今後も検討を重ね、日常の保育を大切にす姿勢を検討する必要がある
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			各保育士が計画を十分に検討し、それを実施に結び付けている。
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			各園児の特性を把握し、その活動範囲を決めながら保育を実践している。
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				計画、実施をしたうえで、改善する必要があるものを検証し、来年度から実施する。
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			アンケートを実施し、保護者の要望のある事については、積極的に検討し、実施可能なものについては改善している。

### ◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				職員会議、管理職のチーム、各委員会などを組織し、合理的に運営をしている。
	(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				各職員の職務分担を明瞭にして、各役職について責任をもって行動し、協働できる体制を構築している。
	(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			最適ではないが、適材適所となるように、常に組織内で改善する姿勢でいる。

	(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○		仕事の分担に偏りが無いように心がけている。
運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		議事録、議案書を作成して、効率よく、時間内に終わるように進行している。
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。			○	意見を積極的に述べる者とそうでない者がいる。
	(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。		○		毎月及び適時に会議や委員会を開催している。
年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○		指導計画をしっかりと立てたうえで、保育を実施している。
	(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○		各クラスで、その子どもの発達状況にあったもので設定している。
	(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○		適切に設定している。
	(4) 同年齢及び異年齢時間の効率的な活動の充実を図っているか。		○		園庭及び室内においても、遊びの時間において、異年齢児の交流を図っている。また、そのための遊具を揃えている。
	(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○		保育記録を保管し、各職員が閲覧することが出来る。
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○		各クラスで具体的に衛生管理について共有している。
	(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			毎月の避難訓練は必ず事項しており、安全指導についても、紙芝居などで周知をしている。
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○		保健だよりを定期的に発行して、周知を図っている。また、感染症が発生した時には、LINEを通して保護者に周知する様になっている。
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。			○	地域社会や関係機関との連携はあまり図っていない。
保育所外研究・研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		キャリアアップ研修や千葉県による研修、海匠支会内での研修などに参加及びオンラインでの研修を実施している。
	(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を保育所内に還元しているか。		○		職員会議において、研修報告を実施して、職員間で共有している。
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っていますか。		○		個人情報については、適切に取り扱っている。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○		收受した公文書は必ず保管し、発行したものの管理も怠っていない。
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成しているか。		○		適切な時間と方法で作成している。
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。			○	毎月一回の安全点検を実施する様に努力する必要がある。
	(2) 遊具・用具などを、活用しやすいように整理・保管しているか。		○		遊具、用具については適切に管理している。
	(3) 不審者などに対応する周到な配慮を行っているか。		○		玄関の施錠は必ず行い、避難訓練計画の中に、不審者が侵入してきた時の訓練を行っている。
	(4) 掲示板、掲示場所などを適切かつ効果的に活用しているか。		○		各クラスに掲示板を設置し、設置したもので、重要なものは、LINEにおいて流すこととしている。
出	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			会計事務所と連携をして、適切に処理を行っている。

納・経理	(2) 予算管理を適切に行っているか。	○			予算管理は適切に行っており、仮に予算を超える場合、補正予算で対応している
	(3) 毎日の収支について、適切に管理をしているか。		○		毎日の収支については、現金残高金種別表などを利用して、適切に管理している。
施設間交流・連携	(1) 他の施設の指導者同士が、打ち合わせや事前研修などを行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。			○	そのような機会を持つことが困難である。
	(2) 参観や保育・授業などに参加するなどして、小学校などの教育を理解しているか。		○		近隣の小学校に連絡をして、授業の様子などを視察して、課題について共有している。
	(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○		園長会議などを通して、情報交換を行っている。
家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日などを設定しているか。			○	2025年度の年間計画において、保育参観日を実施することを決定した。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期、内容は適切か。			○	地域の人材活用をしていきたいと希望しているが、具体的にどのようにアプローチをするのか検討中である。
	(3) 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		情報提供をしている
子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育士等を開放しているか。		○		毎月2回の園庭開放を実施している
	(2) 地域に住む子どもどうし、或いは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○		毎月、子ども会を実施している
	(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○	次年度以降の課題である。
	(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		子育てサポートなどを周知して、相談がある保護者の窓口を開いている。
	(5) 医療機関、児童相談所、子育て支援センターなどの専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。			○	医療機関や保護者への情報発信は弱い。
情報の発信	(1) 保育所だより、クラス通信、ホームページなどで施設の情報を発信しているか。	○			保育所だよりやホームページなどで、情報発信をしている
	(2) 行事や子育て支援事業などを、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		市役所の掲示板に一時預かり事業について掲示している。
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○		保護者に対するアンケートを実施して、それを、ホームページに掲載している。
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○		職員会議において、アンケート結果を共有し、実現可能性のあるものについて検討している。
総合的な評価	<p>※コロナを含めた各感染症などについて、感染防止を図りながら保育をしていくことに腐心した。その中で、英語のレッスン、リトミックのレッスンについては、保護者の見学会を実施することが出来た。また、運動会については、観覧制限を撤廃し、どなたでも見に来ることが出来るように、地域に親しまれる保育園となるように、工夫した。これからも、少しずつその要望に答えられるように、園内でも共通理解のもとに、検討する必要がある。</p> <p>※職員の研修については、予めから実施計画をしていたハラスメントに関する園内研修を実施することが出来た。また、園外研修に参加した職員からの研修報告を通して、保育に関する情報の共有化を図ることが出来た。来年度については、更に有用な外部講師を招聘して、園内研修を実施することを検討している。</p> <p>※銚子市の少子化により、保育園でも在園児の人数が減る見込みがあるなかで、今後は如何に、地域に求められた保育園として歩む必要性がこれまで以上に必要となり、そのための、保育園自体の資質向上をし続ける必要がある。そのために、毎月一回、保育所に通っていない乳幼児を対象にした、園内での遊び場の提供をすることになった。また、園庭についても、リニューアル工事を行うこととなっている。</p> <p>※第三者評価のアンケートの結果を重視し、要望に応えられるものと応えられないものを検討し、出来る限りその要望に応えていけるように職員間で情報共有をしていく。</p> <p>※職員の保育に対する知識、資質について、職員の仕事に対する意欲を高めるための仕組みを構築し、より良い専門職としての資質向上に努めるようにしていく。</p>				